

令和4年度(2022年度) 八王子市地域づくり推進事業

## 長房中学校区 地域フォーラム

～ 私たちが描く地域のありたい姿を実現するために～



令和4年(2022年)11月13日(日)

八王子市 未来デザイン室  
株式会社アール・ピー・アイ



# 本日のプログラム

会場：長房市民センター

## 開会

- 1 オリエンテーション 【5分】
- 2 これまでの活動 【10分】
- 3 令和4年度(2022年度)の活動報告 【20分】
- 4 令和5年度以降(2023年度以降)の活動見通し 【10分】  
～ 休憩・席移動 ～ 【10分】
- 5 意見交換 【60分】

## 閉会

### 【配布資料】

長房中学校区地域カルテ  
長房中学校区地域づくり推進計画  
長房中学校区地域づくり推進計画(概要版)

# 八王子市の地域づくりについて

## (1) 地域づくりの目指す姿

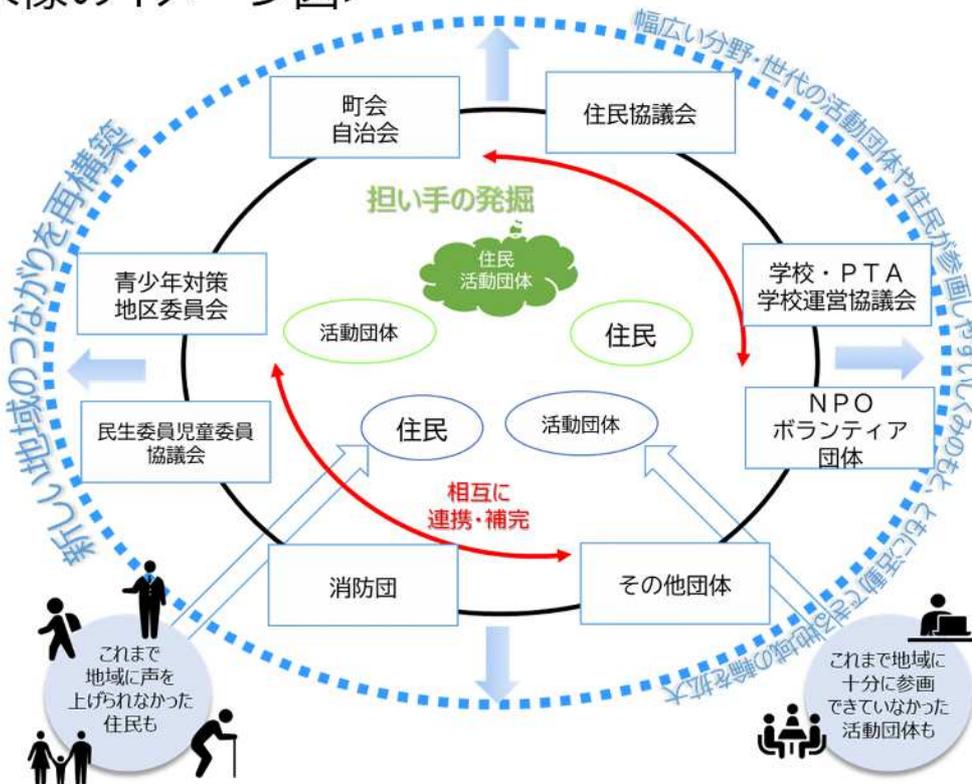
本市では、地域にとっての未来像を以下のとおり定めています。

- 日常生活での顔の見える関係性のなかでの支えあい、担いあいを通して、誰もがずっと安心して住み続けられる地域
- 従来の制度の縦割りや分野の垣根を超えて、地域の実情やニーズを捉えた柔軟な課題解決の実現
- デジタル技術も活用しながら多くのステークホルダーとの連携を深め、地域の潜在的なポテンシャルを掘り起こしながら、持続可能な地域社会の構築



未来像の実現に向けては、中学校区単位に設置を進めている地域づくり推進会議を母体実践していきます。

## <未来像のイメージ図>



## (2) モデル地区

本市では、地域づくりを市全体に展開していくための進め方や体制などを検証するモデルの一つとして長房中学校区を選定し、令和3年度(2021年度)から取り組んできました。令和5年度(2023年度)からは、モデルでの検証を踏まえ、本格的に地域づくりを推進していきます。

# 1 オリエンテーション

## (1) 地域フォーラム開催の目的

地域づくりの気運醸成

地域づくりへの参加促進

地域づくり推進会議の取組充実

本日は、地域づくり推進会議(以下「推進会議」という。)におけるこれまでの活動報告とともに、今後の取組に関する意見交換を行います。

# 2 これまでの活動

## (1) 活動経過

長房中学校区では、令和3年(2021年)6月に推進会議を設置し、これまで様々な議題について検討を重ねてきました。

- 地域づくり推進会議:令和3年度(2021年度) 8回  
令和4年度(2022年度) 5回
- 地域づくりワークショップ:令和3年度(2021年度) 1回
- 地域づくりに関するアンケート調査:令和3年度(2021年度) 1回
- 地域フォーラム:令和3年度(2021年度) 1回

検討を通じて、地域の歴史や文化などをまとめた『地域カルテ』や地域の行動計画となる『地域づくり推進計画(以下「推進計画」という。)』を策定しました。

今後は、推進計画で掲げる将来ビジョンの実現に向けて取り組んでいきます。

## <長房中学校区の将来ビジョン>



多文化・多世代がつながり みんなが安心して楽しく暮らすまち 長房  
～みんなで描く幸福度の高いまちづくり～

## <将来ビジョンに込めた思い>

「多世代交流 / 多文化・多世代」、「つながり」、「安心・安全」、「幸福」等のキーワードをもとに、地域に関わるあらゆる人たちが安心して暮らすことのできる地域を皆でつくっていきたい。

## (2) 地域カルテ

長房中学校区地域カルテ



地域カルテには、以下の情報を掲載しています。

地域概要(概略、位置図、特徴、四季、年間行事)  
地域活動(活動団体(町会・自治会、住民協議会等)、市民活動(サークル活動、文化・教育関連(子ども)活動等)、地域施設(教育等機関・子育て支援施設等)  
住民おすすめ情報(地域と学校のつながり、長房住民が伝えたい地域の歴史、地域の飲食店・お店、地域資源マップ)  
統計データ(人口・世帯数・1世帯当たりの人員の推移、人口構成等)

住民おすすめ情報は、推進会議参加者が長房中学校区全体に伝えたい情報を掲載しており、この地域ならではの内容になっています。



## (3) 地域づくり推進計画

長房中学校区地域づくり推進計画

長房中学校区地域づくり推進計画(概要版)

推進計画には、将来ビジョンの実現に向けて、アンケート調査などをもとに地域の魅力や課題を把握し、今後、5年間で取り組んでいきたいアクションプランを以下のとおり整理しました。

### 【優先的アクションプラン(令和4年度(2022年度)から実施)】

#### 地域情報の発信力の強化

##### < 実施理由 >

- ・イベントや行事等の情報を発信しているものの、地域住民にうまく伝わっていない。
- ・地域活動に関わる方々を増やしたいが、その対象に情報が届いていない。
- ・世代によって情報収集の媒体が異なるため、情報発信の工夫が必要ではないか。
- ・個々の地域情報の発信には限界があり、連携して行う必要があるのではないか。

### 【アクションプラン候補(令和4年度(2022年度)に検討)】

地域交流  
の促進

地域の  
担い手の育成

地域の  
防災力の向上

地域ニーズに  
応じた施設整備

### 3 令和4年度(2022年度)の活動報告

#### (1) 推進会議

令和4年度(2022年度)は、以下を目標に検討を進めてきました。

- 地域が主体的に会議運営ができる体制の構築
- 部会を中心とした優先的アクションプランの実行
- 地域づくり推進計画の充実

これまでの活動によって、今後の推進会議における取組の可能性が広がっています。

- 推進会議参加者が13名(当初) 22名(現在)
- 多種多様な方々の参加
- 参加者同士での新たなつながりの創出

<推進会議の様子>



#### (2) 部会

優先的アクションプランを実施するため、情報発信の手法別に以下の部会を設置し、検討を進めています。

### 地域情報の発信力の強化

部会名	活動頻度	方法	場所	発信時期
地域施設部会	月1回程度	対面	コピー長房	令和4年度中 (2022年度中)
SNS部会	随時	対面 オンライン	長房小学校 LINE	試行実施中
地域イベント部会	随時	対面 オンライン	長房小学校 LINE	令和4年度中 (2022年度中)

詳細は、次項のとおり

今後、各部会における発信方法のしくみの構築後、地域の皆さんがこのしくみを活用できるよう、引き続き、検討していく予定です。

1

## 地域施設部会

- 背景
 

誰もが集まる地域施設で情報発信し、地域全体に伝えていきたい。
- 発信場所
 

まずは、コピー長房内から実施。

  - ・ 地域掲示板
  - ・ コピテラス内のモニター
- 発信方法
  - ・ 動画の放映
  - ・ チラシ掲示
- 現状
 

試行的に放映する動画作成を進めています。放映時間ややり方についてコピー長房と協議を行っています。

### <コピー長房の発信方法>



2

## SNS部会

- 背景
 

若い世代に地域活動などを知ってもらい、地域に関心を持ってもらいたい。
- 発信媒体
  - ・ Instagram
  - ・ Twitter
- 現状
 

部会メンバー内で分担し、発信内容や投稿の方法などのルールについて検討しています。

< Instagram >  
[https://www.instagram.com/hachiouji\\_nagabusa/](https://www.instagram.com/hachiouji_nagabusa/)



< Twitter >  
[https://twitter.com/nagafusa\\_8](https://twitter.com/nagafusa_8)



3

## 地域イベント部会

- 背景
 

多世代が集まる地域イベント・行事の場を活用して多くの地域住民に情報を伝えていきたい。
- 現状
 

新型コロナウイルス感染症の影響により、イベントが相次いで縮小しているため、イベント・行事での発信が難しい。
- 代替策
 

長房団地全体への発信や住民協だよりを活用した発信などの方法について検討しています。



## 4 令和5年度以降(2023年度以降)の活動見通し

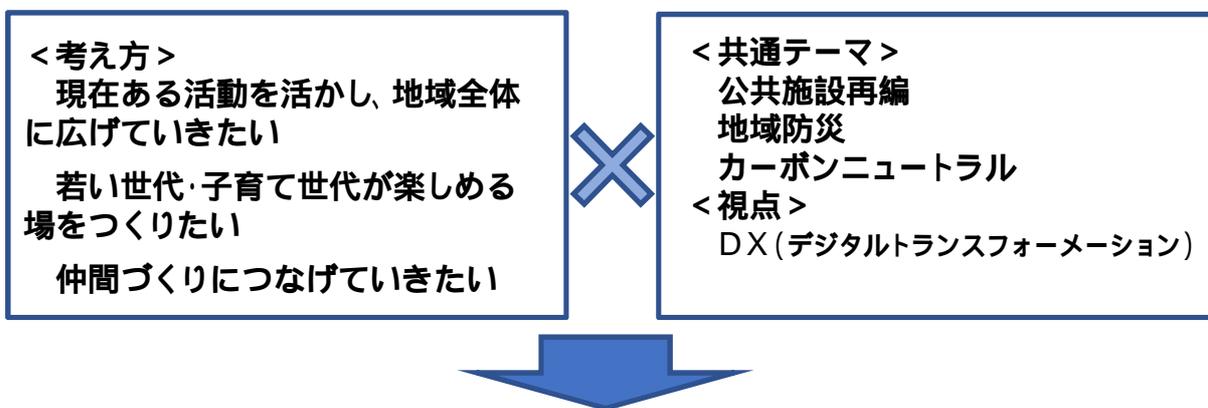
### (1) 今後取り組むアクションプラン

推進会議では、現在取り組んでいる「優先的アクションプラン」に加えて、令和5年度(2023年)から取り組むアクションプランを検討しています。

推進計画に記載するアクションプラン候補をもとに検討した結果、「多世代のつながりづくり」とし、地域と行政がともに取り組んでいく共通テーマ・視点を合わせた取組を実施していきます。

具体的な取組は以下のとおりです。今後は、「いつ・どのように実行するか」などを具体的に整理していきます。

#### アクションプラン【多世代のつながりづくり】



具体的な取組	取組概要
地域食堂	これまでに配食などの実績があるサロン活動をもとに、フードロスの視点も取り入れながら、多世代が集まる場となる「地域食堂」を開催する。
ハロウィン	多世代交流として子どもたちが高齢者施設をまわることや、地域を知るきっかけとして消火栓や交番をまわることなど、現在長房団地で実施しているハロウィンイベント拡充し、地域全体に広げていく。
目的別教室	住民同士の交流の場として、若い世代による高齢者を対象としたスマホ教室の開催のほか、防災に詳しい住民が先生となるなど、住民同士が教えあう様々な「教室」を開催する。
フリーマーケット	朝市やマルシェなど、既存の取組と組み合わせ、若い世代が楽しめるイベントを定期的で開催する。子育て世代など若い世代が中心となって企画運営し、地域づくりに関わる人を増やす。
公共施設再編	地域の活動拠点ともなる公共施設について、住民の意見収集を行うとともに、推進会議の場などで行政との検討を進めていく。

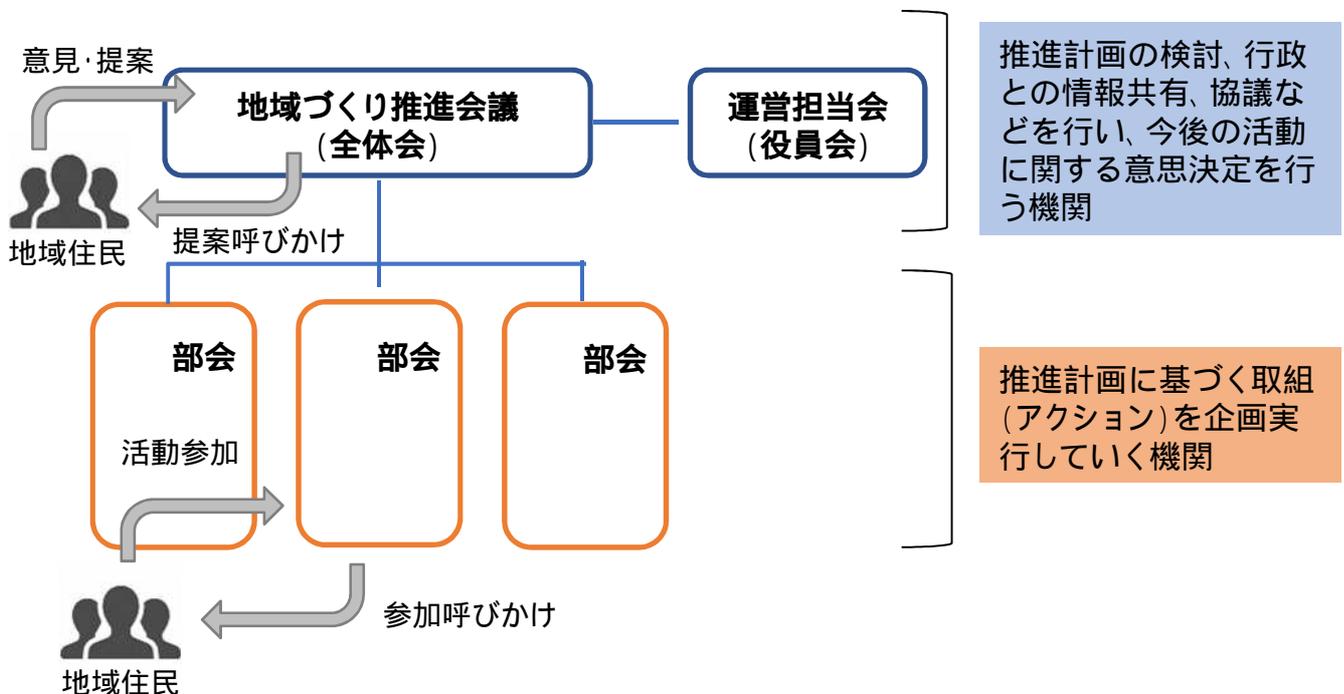
## (2) 推進会議の体制

令和5年度(2023年度)から地域が主体的に推進会議を運営し、アクションプランなどを実施できるよう、しくみ・体制、運営ルールを検討しています。

現在、推進会議には、アクションプランの内容や推進会議のしくみを話しあう「全体会」、「全体会」の議題や進め方を検討する「運営担当会」、優先的アクションプランについて検討・実行する「部会」があります。

今後、アクションプランの充実に伴い、体制の見直しを図っていきます。

### <推進会議の体制(案)>



## (3) 地域づくりへの参加

推進会議に参加することで、地域住民の皆さんの思いを地域づくりに反映することや、単一団体では取組が難しいことが実行できるなど、これまでの活動をさらに広げることができます。

活動を行うに当たっては、

- 誰でも気軽に・ゆるやかに参加・関わることができる
- 住民一人ひとりの声を届けることができる
- 個々の特技や知識を活かすことができる

場となれるよう引き続き、検討していきます。

推進会議への参加、部会でのイベント企画や実行する仲間を募集しています。ぜひ、地域づくりの活動にご参加ください。

## 5 意見交換

本意見交換は、先ほどの活動報告などを踏まえて、長房中学校区での地域づくりに関する内容について行います。

意見交換の結果は、アクションプラン【多世代のつながりづくり】の具体的な取組を検討する際の参考とさせていただきます。

### (1) 意見交換

以下のテーマについてグループごとに話しあいます。

#### ア 地域づくりへの感想：

活動を知っていたか/関心・感想など

#### イ アクションプラン( ~ )に関する意見：

- こうしたほうがいい/取り組むとよいアイデア/類似の活動情報
- アクションプランに関わるとした場合、どの取組にどのように関わりたいか
- どうすればアクションプランを地域全体に広げられるか

### (2) 全体でシェア

各グループで出た意見を発表・共有します。

【メモ欄】

## フォーラムでのお約束

- その1 : みんなの発言に耳を傾けましょう。  
(聞き上手になる)
- その2 : 小さな気づきも発言しましょう。  
(話し上手になる、でも一人で話しすぎない)
- その3 : 自分とは異なる意見を尊重しましょう。  
(意見を批判しない)
- その4 : 肩書きをはずして話し合しましょう。  
(立場にこだわらない)
- その5 : みんなで意見や考えを共有しましょう。  
(結論を無理に出さない)

